

平成27年度 議会事務事業評価結果表（平成26年度決算分）

委員会名	福祉環境常任委員会	委員長名	相良 大悟
事業名	人間ドック助成事業		
<p>本事業は、国民健康保険加入者の人間ドックの受診を促し、疾病の早期発見と生活習慣病等の予防、健康保持・増進などを図ることを目的としている。対象者は30歳以上とし、市内4カ所の医療機関等で実施した人間ドック受診費用の一部を助成するものである。なお、平成26年度の助成人数は454人である。</p>			

評価区分	人数	評価理由・要望・提案等
1：廃止	0名	
2：抜本的見直し	1名	<ul style="list-style-type: none"> 対象医療機関の増加 初回の受診者に対する助成額の引き上げ検討
3：要改善	6名	<ul style="list-style-type: none"> 所得区分に応じた助成制度の導入 制度の周知徹底及びPR方法の改善
4：現行通り	1名	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康保持のために有効である
5：拡充	1名	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の引き下げ、自費負担額軽減、検査項目の拡大、対象医療機関の増加

*審査の概要

目的に応じた事業として必要性は認めるものの、助成人数を増やす取り組みに対する手法の違いにより評価区分が分かれた。

また、助成人数が対象人数の1%に満たないことから、「要改善」の評価においては、スポーツ施設での案内や医療機関と連携を図った周知の検討、医療費抑制の効果やBAN-BANテレビなどを活用し、健康意識を高めるようなPRの実施など、具体的な手法が出された。

なお、医療費の削減にあたっては、本事業の推進よりも特定健診の受診率を高めるほうがより効果が表れるとの意見もあった。